



かがやき

るがえる
がばくる
んがさ
かんさ
がやえ
きたえ

時津町立鳴鼓小学校
学校だより 第5号

令和4年7月11日
文責：校長 今井大輔

充実した教育週間

六月十八日(土)から二十四日(金)までの「なづみっ子の心を見つめる教育週間」では、多くの保護者や地域の方に来校いただきまわした。三年ぶりの土曜授業参観ということもあり、多数の方に学校へ足を運んでいただき、学校内が普段以上に活気づいていました。

土曜日は、朝の校長講話から始まり、全学級「命」に関する道徳の授業、ピースバトンながさき様による平和の話、地域の方を迎える会、学級懇談会と盛りだくさんの半日でした。

また、二十一日(火)に学校評議員会、二十二日(水)に教育委員訪問もあり、学校経営に関して貴重なご意見も頂きました。教育週間に保護者や地域の皆様からいただいたアンケート内容と合わせて、今後の学校運営に生かしてまいりたいと思っております。ご協力ありがとうございます。



平和学習

今年度もピースバトンながさき様による平和の話を、低・高学年の二グループに分かれて聞きまわした。資料を使った話や絵本などから、戦争の悲惨さや命の大切さを感じる事ができました。ここで学んだことをこれからの平和学習に生かしていくことでしよう。



ピースバトンながさき「平和の話」

笑顔あふれるプール

三年ぶりにプールを使用しての水泳指導が行われています。一、二、三年生にとっては初めて、四年生以上は三年ぶりとなります。三年生は、初めてにしていきなりの大プールで、ハラハラドキドキのスタートとなったようです。しかし、慣れてしまえば、笑顔があふれ、のびのびスイスイと活動していました。命を守るための大切な学習です。以前より少ない回数ですが充実した時間となっています。



プールの中は、笑顔、笑顔、笑顔でした。

地区PTA懇談会

七月一日(金)に三年ぶりに地区PTA懇談会が行われました。PTA、自治会、シニア会、安全見守り隊など、子供たちに関わっていただいている方々が集い、熱く語り合いました。「登下校時の危険箇所」「児童のあいさつ」の二つの議題について、それぞれの立場で、意見交換をしました。



グループ協議を行い、内容を報告。

地域の方からは、左底や久留里地区のこれまでの歴史や子供たちへの思い、毎日の登校の様子など貴重な話を聞くことができました。また、保護者からは「地域の方が子供たちをよく見てください」というのが分かったという感想も多く聞かれました。地域全体で見守ってくださいという事は本当にありがたいことです。しかし、複数のグループ協議の中で、コロナ禍で各地区の行事や人との関わりが減ってしまっていることも、今後の課題として上がっていました。学校も同じ課題があります。みなさんと共に子供たちにとってより良い形を見つけながら進んでいきたいと思っています。

つなやき

子供の頃、この夏休み前の二週間は、ワクワクそわそわで、休みがくるのを指折り数えて待っていたのを覚えている。夏休みにはやるべきことがたくさんあったが、とにかく学校で机に座っていないのが何より嬉しかった。

私の小学四年から中学三年までの夏休み(お盆まで)は、ほぼ同じ日課であった。ラジオ体操後に自宅から200Mの海へタコやサザエを獲るために潜りに行く。その後、宿題をし、午前中は部活。午後からは子ペーロンの練習と遊び。夜は大人ペーロンの練習。夏休み中に3回は皮がむけるほど真つ黒に日焼けしていた。よく遊びよく動き、夏を楽しみながら新しい発見や体験をしたものだった。

現在の子供たちの夏休みは、どのような日課なのだろうか？学童や部活、塾、習い事など決まった時刻に行くべき場所がある子供は、ある程度決まった日課があることだろう。また、家庭の中で、自分で勉強や遊び、運動、そして手伝いなど、しっかりと日課を決めてできるところもあるはずだ。

しかし、一番心配しているのは、この小学生時代の大切な時間をメディア(ゲーム、PC、SNSなど)漬けにしてしまうことである。普段より時間に余裕があり、多くの経験を積むチャンスは、多くの子供にない。今の学年での夏休みである。ぜひ、今しかできない貴重な経験をしてほしいと心から思っている。こればかりは、本人のやる気と地域の方のサポートが、家庭と地域の方の力添え無しには達成できないことだと思っている。